

心の歴史はさらに受け継がれる



活動を支える役員・会員を表彰



美しい函館を守ります

日本三大夜景の一つ「函館山」や幕末の戊辰戦争の戦場となつた市。国内外からたくさんのお客様が訪れるこの地で、「小さな親切」運動を推進する函館支部が創立50

周年の節目を迎えました。
9月6日、記念式典と祝賀会が行われ、奥野秀雄支部代表のあいさつに始まり、大泉潤市長や運動本部栗田正副代表の来賓祝辞、長年にわたり活動を支える会員企業・団体の功労表彰が行われました。また、20年以上にわたって支部代表をつとめ、残念ながら今年3月に急逝された小笠原孝前相談役への感謝状をご長男の勇人さんに贈呈。

祝賀会は和やかな雰囲気の中、役員や会員の皆様が近況を報告し合ったり、思い出話に花を咲かせたりする様子があちらこちらで見られました。これからも皆様が力を合わせて、函館をさらに温かく魅力ある街にしてくださることでしょう。

北海道 函館支部

[事務局: 北南機設株式会社]

栃木県では、学校を中心に「小さな親切」運動がスタートした経緯もあり、栃木県本部は発足当初より「作文・標語コンクール」を主催す

栃木県 本部

[事務局: 栃木銀行]



感謝状を受け取る足利支部 富田隆代表

るなど、一貫して子どもたちの豊かな心づくりに力を注いできました。

10月11日、栃木県本部は創立50周年記念式典と祝賀パーティーを開催。運動本部からは小林和明副代表が出席しました。

記念式典では、これまでともに県内の活動を推進してきた6支部(足利、栃木、宇都宮、佐野、小山地区、鹿沼地区)の活動を称え、黒本淳之介県代表より感謝状を贈呈したほか、パーティーではこれまでの活動の記録をまとめた動画を上映し、栃木の「小さな親切」運動の歴史を振り返りました。パーティに駆けつけてくださった県本部顧問をつとめる福田富一県知事より、お祝いと激励の言葉を受けた役員・会員の皆さんには、これからも豊かな心づくりを次世代につないでいこうと決意を新たにしていました。